

株式会社バローホールディングス

ホームセンターバローメガストア羽島インター店／岐阜県羽島市

株式会社バローホールディングスは、スーパーマーケットを中核に、ホームセンター、ドラッグストア、スポーツクラブ等、地域の多様なニーズに応える事業を展開されています。

本事業は、その業態の中からホームセンターを避難所とし、災害時の停電下においても発電と空調が可能なGHPを導入されたものです。

令和6年度補正においても、当該店舗の避難所の拡充申請をいただいているだけでなく、他数店舗でのご採用もいただいております、地域貢献への積極的な企業姿勢を具現化されています。



外観

補助事業の概要

導入設備：停電対応型GHP56kW×15台

補助金額：約46,883千円(補助率1/3)

災害時の設備用途：[空調] 空調

[発電] 停電時コンセント、売場・トイレ照明への給電

対象施設	避難所面積	供給方式
避難所	6,220㎡	低圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

株式会社バローホールディングス 店舗運用部 既存店対策課 マネージャー 清水 孝一 様

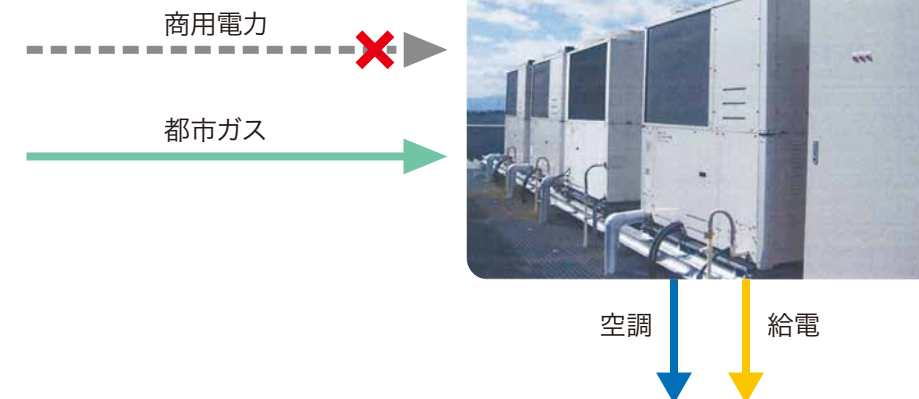
災害時に自立発電ができるGHPがあることを知り、レジリエンス向上を目的として、都市ガスで稼働中のGHPを更新する際には、自立型に更新することを考えています。

また、近年の自然災害の発生状況も増加していることから、弊社として、災害等緊急時連携協力の強化にも力を入れており、避難所として店舗を開放し、近隣住民の方々に安心して利用いただける場所を提供したいと考え、行政様と協定を締結しています。停電時にはGHPの自立運転に加え、照明やスマートフォンなどの通信機器が充電できる非常用コンセントも設置し、よりよい環境を提供できるように計画しています。

約3年前より当該補助金を活用させていただいていますが、今後とも、更新時期が近い店舗から計画的に更新を進めてまいります。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

停電時の設備活用イメージ



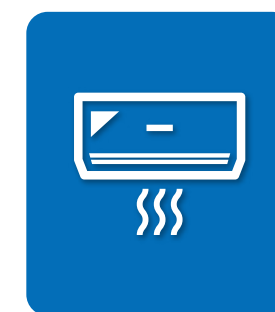
避難スペース(一例)



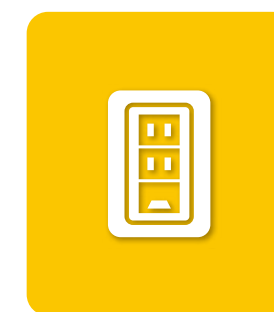
売り場

など

災害時にも避難所等で活用可能な設備等



空調



コンセント



照明

協定概要

羽島市とは、「災害時における支援協力に関する協定」を締結(令和7年1月)。災害時において、施設を避難所として利用することについて定められています。